

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)タカラ海老名大谷プロジェクト	階数	地上3F
建設地	海老名市大谷字護摩堂751の6ほか34筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域,法22条指定区域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年11月 予定	評価の実施日	2026年3月24日
敷地面積	21,612 m ²	作成者	鈴与建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	9,953 m ²	確認日	2026年4月1日
延床面積	19,331 m ²	確認者	鈴与建設株式会社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.2 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★ 環境品質 G 環境負荷 L	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆ このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

項目	スコア
音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

項目	スコア
機能性	N.A.
耐用性・信頼性	3.2
対応性・更新性	4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.6

項目	スコア
生物環境	1.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.9
効率的運用	2.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

項目	スコア
水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	3.4
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

項目	スコア
地球温暖化への配慮	3.6
地域環境への配慮	3.3
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・海老名市に新築される物流倉庫である。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・評価対象外	・耐用年数の高い外装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・主要給排水管は耐用年数が高い材料を使用している。	・植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・BPI _m =0.75	・自動水栓に加えて、節水型便器も採用している。 ・LGSを使用しているため、躯体と仕上の分別が容易である。	・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される